



2022年度協約改訂を全組合員で闘おうシリーズ⑪

要求は何一つ通らず！

2022年度労働協約改訂第8回団交（回答）

本部は本日、2022年度労働協約改訂及び労働条件改善の第8回団体交渉を開催しました。冒頭、長野県豊丘村のリニア工事現場で8日に発生した事故に対し、本部は「これで事故は6回目だ。しかも本工事の前の序の口での工事だ。直ちにリニア建設はやめるべきだ。後日、リニアに関する申し入れ行うので、経営協議会もしくは団体交渉を行うこと」と主張しました。

今団体交渉では、会社から以下の回答がありました。JR東海労が申し入れた社員の切実な要求は1つも通らず、回答は会社にとって痛くも痒くもないものでした。本部は、持ち帰り検討としました。

【協約等の改訂に関する事項】

1. 出生休暇の新設及び結婚休暇の付与日数等の変更
2. 配偶者帯同休職の新設
3. 育児等に関する取扱いの変更

【制度等の改正に関する事項】

1. 帰省交通費の特例措置拡充
2. 非常呼出手当の支給対象拡大
3. 新幹線指定席利用の拡大（試行）
4. 在宅勤務制度の変更
5. フレックスタイム制の変更
6. 一般住宅補給金の支給額見直し

※詳細は『業務速報』No.1314を参照して下さい。